

平成29年度財務書類(バランスシート)を公表します

財政状況に対する理解を深めていただくため、民間の会計基準を活用し財務書類を作成しています。

平成29年度決算より、国より示された統一基準を用いて財務書類4表を作成しました。

なお、本紙においては、財務4表のうち「貸借対照表(バランスシート)」のみ掲載し、それ以外の財務書類は市のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

貸借対照表(バランスシート)とは

地方公共団体の決算は、その年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産(市民の財産)の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

一般会計等バランスシート

(平成30年3月31日現在)

借方(資金の使われ方)	
1 固定資産	1,078億4,197万円
①有形固定資産	④ 998億9,935万円
事業用資産	666億1,091万円
(庁舎、学校、保育所、児童館、福祉施設等)	
インフラ資産	331億9,113万円
(道路、公園等)	
物品	9,731万円
②投資その他の資産	79億4,262万円
(出資金、基金、長期延滞債権等)	
2 流動資産	75億2,839万円
①現金預金	18億7,389万円
②基金(財政調整、減債)	50億8,108万円
③未収金、短期貸付金等	5億7,342万円
● 資産合計	⑤ 1,153億7,036万円

貸方(資金調達の上り方)	
1 固定負債	252億3,570万円
①地方債	223億5,393万円
②退職手当引当金	28億8,177万円
2 流動負債	32億6,658万円
①1年内償還予定地方債	24億6,617万円
②賞与等引当金	5億7,165万円
③預り金	2億2,876万円
● 負債合計	⑥ 285億 228万円

1 純資産	868億6,808万円
● 純資産合計	⑦ 868億6,808万円

● 負債・純資産合計	1,153億7,036万円
------------	---------------

資産合計 1,153億7,036万円(市民1人当たり192万円)

負債合計 285億 228万円(市民1人当たり 47万円)

純資産合計 868億6,808万円(市民1人当たり145万円)

※平成30年3月31日現在、住民基本台帳人口 60,084人

※上記のバランスシートは、一般会計と石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計、仁良川地区土地区画整理事業特別会計、歳入歳出外現金を合算したものです。

バランスシートから分かること

これまで市は、1,153億7,036万円⑤の資産を形成してきました。そのうち、有形固定資産(学校・道路・公園など)の998億9,935万円④が将来に引き継ぐ資産になります。

資産のうち、868億6,808万円⑦は、これまでの世代の負担で、すでに支払いが済んでいます。残りの285億228万円⑥を将来の世代が負担していくことになります。

